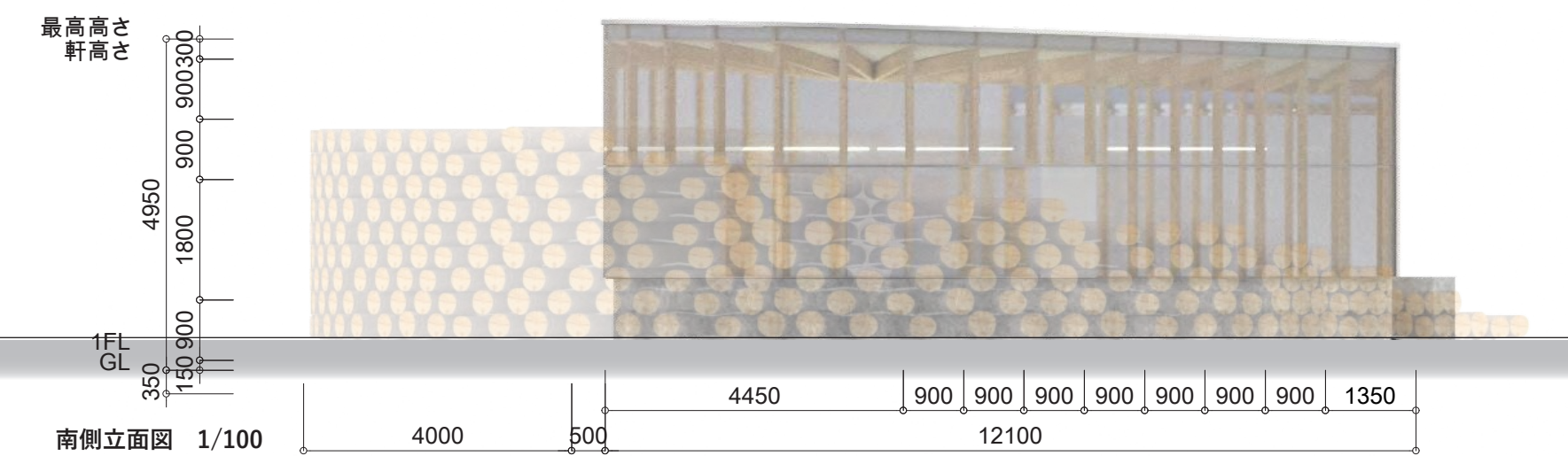
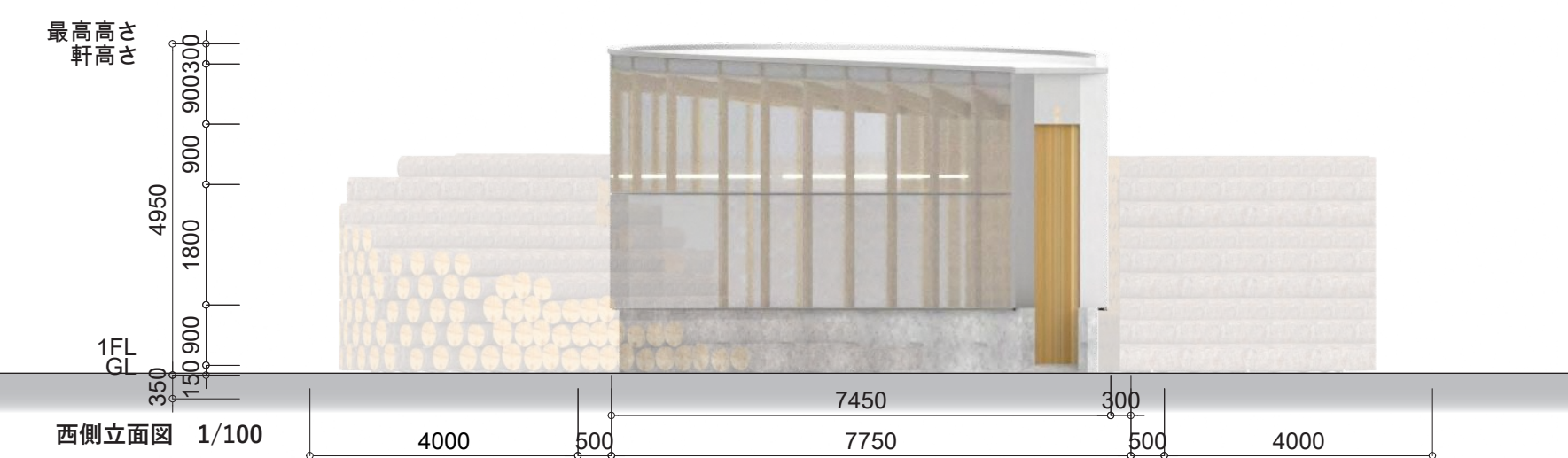
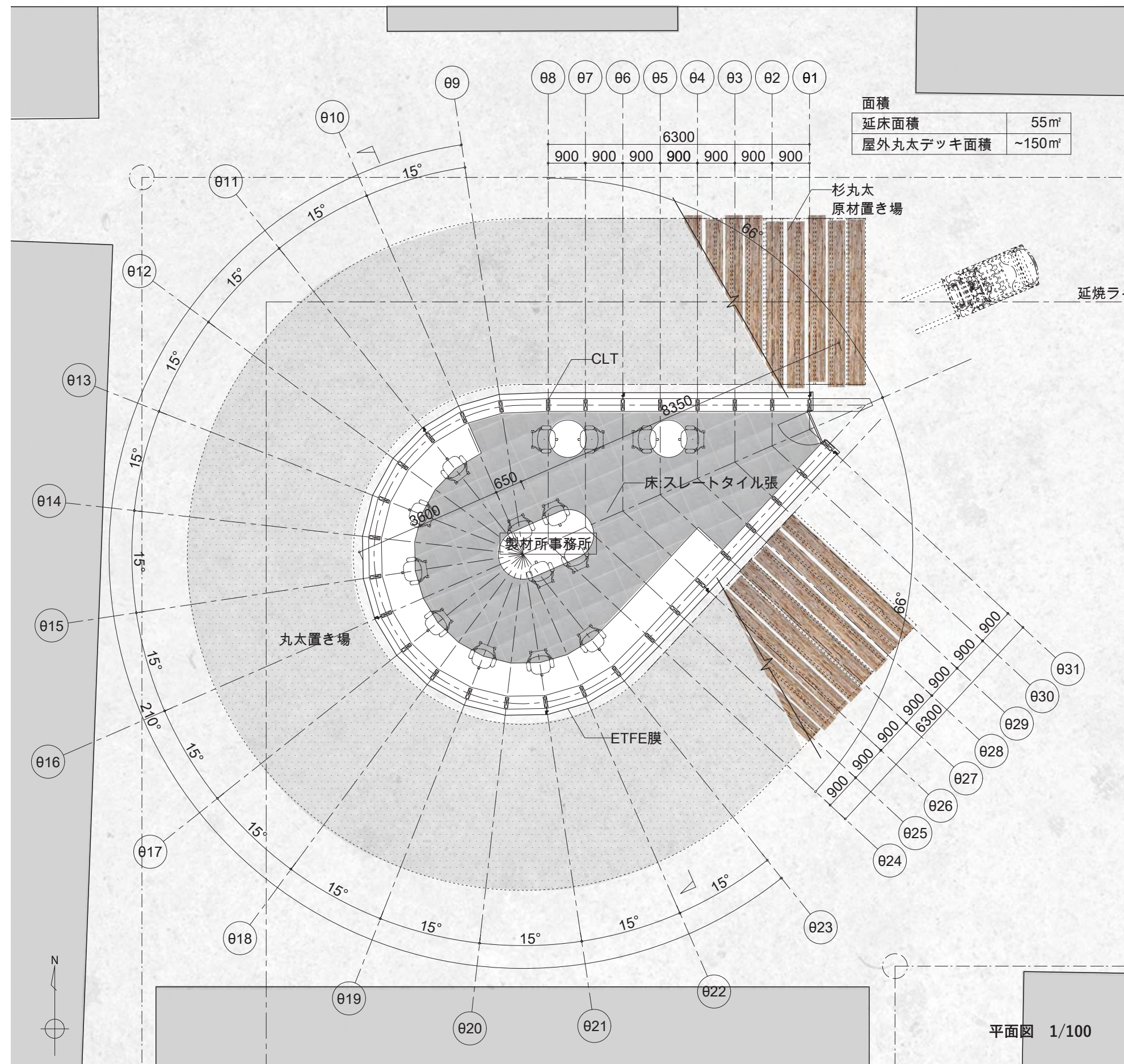


マルタのカタチ

～ 木材流通現場が作る、新しい京都の生業のカタチ ～



京都の木材流通工程を活用して提案する

京都市内にある
丸太から仕入れる製材所



乾燥・出荷

製材工程で発生する、
タイムラグと在庫量の変動

変動する床の提案

動線を作り出すと共に、事務所の環境を調整する

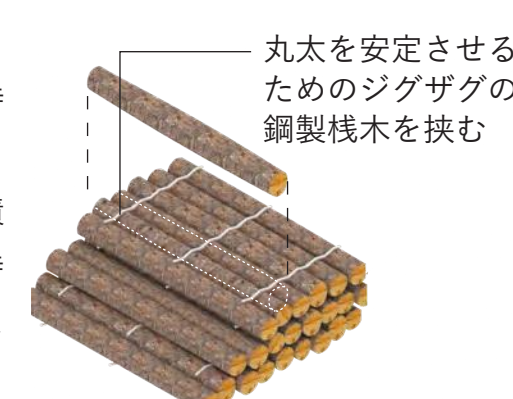
丸太積みのデッキは、フォークリフトの搬入経路のため事務所の建築を囲むように配置されます。内部からは囲まれた丸太の木口が内装の役割を果たし製材所ならではの事務所空間を創ります。また日射を遮り、含水量の多い丸太は周辺の熱を取り、建物への熱負荷を低減させ換気の風を創りだします。

現状の丸太在庫は場所を圧迫するものでしかない



丸太は搬入されると通常、野積みになされ製材されるのを待ちます。丸太の保管には大きな面積が必要で、在庫量の多い時は、製材所での人の活動スペースを圧迫します。

人が活用できる丸太積み開発



丸太のグラつきを無くし、安全に丸太の上を活用できるようにする栈木を開発します。階段状に組まれた丸太を上り、業務の休憩やイベントなどが展開します。

